

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	17	以前と比べ入浴の回数が減少している。入居者の重度化と安全面を配慮したことが原因だが、安全面を優先することが入居者の生活の質を落とすことに繋がってはいけない。また、シャワーブース付近に洗剤等が置かれているのも、安全面にも見た目にも良くない。	入居者に少しでも多く入浴してもらう意識を職員で統一し、回数を増やしていく。また、心地よく入浴してもらうよう浴室内の整理整頓を心がける。	業務を見直し、入浴の回数を増やすよう努める。また家族にも転倒等リスク等改めて説明、理解を得る。浴室内の物品の配置に気を配る。	12ヶ月
2	15	食事を楽しむという観点で、テレビがついていては職員と入居者との会話も弾まなくなる。また、入居者の尊厳を守るために、終始長いエプロンを付けて食事をするのも検討すべき。	家庭的な雰囲気の中で入居者が食事を楽しめて、自然と笑顔が見られるような環境を作る。	食事中はテレビを消すかBGMに変え、メニューも季節の食材に気を配り、食材の会話から季節を感じ取ってもらう等の工夫を行う。エプロン使用も可能な限り他の方法に替える方法を検討する。	6ヶ月
3	19	ホーム内には入居者の作品や写真が多く掲示しているが、その中には古く色褪せたものも多い。過去の記念として掲示させておくよりも、今の入居者に関係あるものを多く展示させるべき。	「現在の入居者」にとっての心地よい空間作りを心がける。	担当者を決め、掲示物の定期的な入れ替えの検討を行う。他のインテリアの小物等も季節等によって必要に応じて替えていくよう心がけ、会話によってそうした変化を感じてもらえるようにする。	12ヶ月
4	6	開設当社は旅行、家族会、新聞作り等を通じて家族とのつながりを重視していたが、近年、こうした企画が減少している。	家族とのつながりを強化し、職員と交流する機会を増やす。季刊誌だった「るしだ通信」を復活させる。	家族会を定期的で開催し、ご家族が職員や他の入居者の方との交流を温めるような機会を作る。季刊誌を発行する。	24ヶ月
5	13	火災を想定した避難訓練は行っているが、地震等自然災害への対策は十分ではない。	自然災害を想定した動きの流れをもっと具体化し、事業所の危機管理能力を養う。	机上訓練にて、事業所で実際に起こりうる災害をシミュレーションし、発生から数日後までにどのような対応をし何が必要かを、職員間で話し合う。	24ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。